



東北商店株式会社

www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社

□本社

大阪市住之江区新北島5-3-16

TEL:06-6683-8828

□南港事業所

TEL:06-6613-8838

□千葉支店

TEL:0436-76-7277

□名古屋支店

TEL:0567-94-5688

グループ会社

東北エント株式会社

兵庫県姫路市網干区浜田1585

TEL:079-271-5025

www.tohoku-ent.com

日刊メタルレポート

◆自動車生産台数

	11月	12月	1月
生産台数	83万8135台	84万8208台	83万7197台
前月比	-7.3%	+1.2%	-1.3%
昨年対比	+4.5%	+13.4%	+18.6%

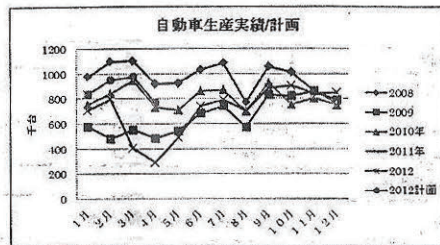
◆自動車販売台数

	12月	1月	2月
販売台数	22万1960台	26万3267台	33万3213台
前月比	-12%	+18.6%	+26.6%
昨年対比	+23.5%	+40.7%	+31.9%

◆生産計画台数

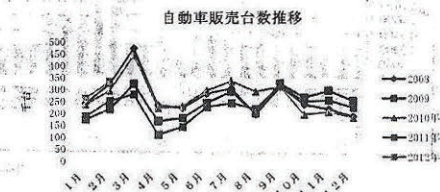
	2月	3月	4月
生産計画台数	95万2千台	97万7200台	76万7300台
前月比	+22.8%	+2.7%	-21.5%

自動車生産台数推移



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

【前月の経済指標】
◆日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前月比一・三％減の八三万七、一九七台であった。
◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比二・六％増の三三万三、二二二台(前年比三一・九％増)。
◆三方月間の自動車生産計画は昨年対比八〇・八％増の二六九万六、五〇〇台。
(二面へ続く)

発行所

株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話(06)6932-5443 代表北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話(076)444-6836

購読料 半カ年44,100円(前納)3カ月22,050円



橋本健一郎氏

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

輸入はスクラップが二三％増

電気銅 輸出 前月比で二ケ多減が改善

【概況】二月前半はギリシャ政府と民間の債務交換会議(債権の割引)の進展や、EU会合で欧州安定メカニズムの約五、〇〇〇億の前倒しなどプラス材料を好感し急騰するも、結局はギリシャ国民のデモによる政府との関係悪化、それに伴うユーロ会合でのギリシャ支援を嫌気し急落、八、四〇五ドル(セツル)と約三〇〇ドル乱高下しての前半締めとなった。後半は二月のユーロ圏PMI指数の悪化や欧州委員会でのGDP下方修正などを嫌気するも、ギリシャ支援について合意がされたことや、NYダウが三年九カ月ぶりに一万三、〇〇〇ドル台を突破したことを好感し上昇、三月六日現在、八、五〇二ドル(セツル)と前半締めから五〇ドル強上昇、建値七三万円のスタートとなった。

自動車関連以外は一段と調整

新設住宅着工、一進一退が続く

(二面より続く)

◆新設住宅着工戸数

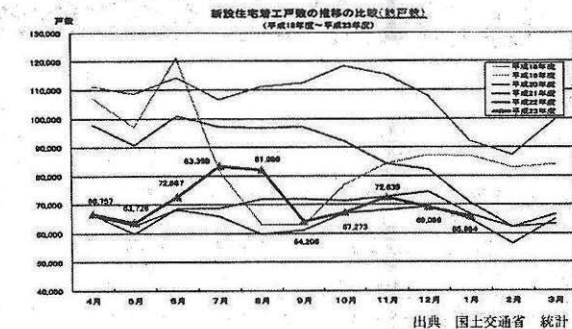
国土交通省によると、新設住宅着工戸数は

前月比(季節調整済み)五%増(昨年比一・一%減)の六万五、九八四戸であった。

◆新設住宅着工戸数

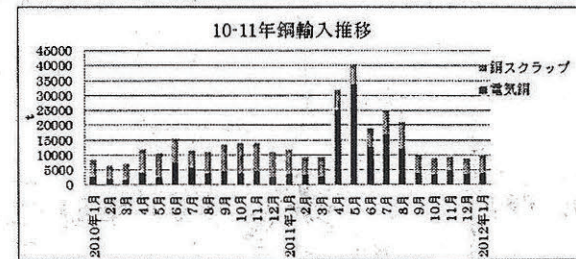
	11月	12月	1月
新設住宅着工戸数	7万2835戸	6万9069戸	6万5984戸
季節調整 前月比	+9.1%	-5%	-4.5%
昨年対比	-0.3%	-7.3%	-1.1%

新設住宅着工件数推移



	11月	12月	1月
輸入			
電気銅	4650 t	3046 t	3758 t
前月比	+36.8%	-21.6%	+3.1%
スクラップ	4668 t	5114 t	6286 t
前月比	-16.7%	+9.6%	+22.9%

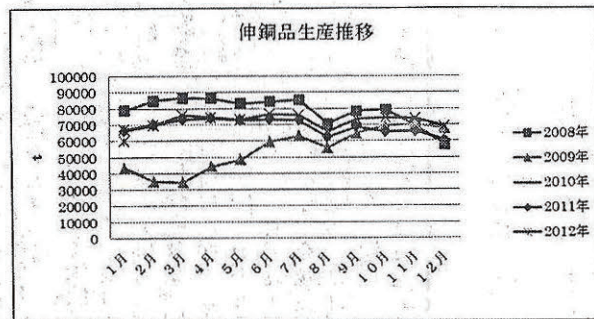
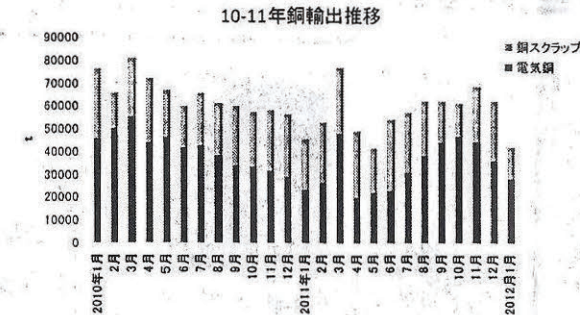
輸入推移



◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が二二・二%減二万八、〇六一、スクラップが四七・五%減の二万三、四八八。

	11月	12月	1月
輸出			
電気銅	4万4532 t	3万6046 t	2万8061 t
前月比	-4%	-19.1%	-22.2%
スクラップ	2万3384 t	2万5687 t	1万3488 t
前月比	+58.1%	+9.8%	-47.5%



日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比一・一%減の五万六、〇〇〇tであった(昨年対比一・二%減)。(四面に続く)

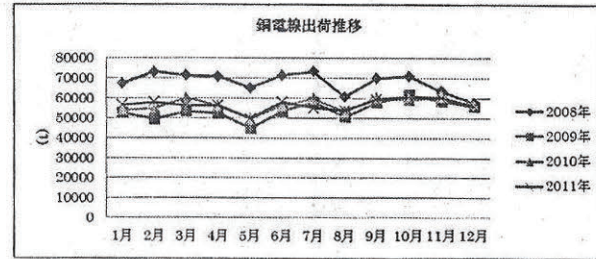
【前月の国内指標】
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比〇・七%減の六万〇、〇一〇t(昨年対比九・五%減)。

輸入は電気銅が前月比三・一%増の三、七八t。スクラップ二二・九%増の六、二八六t。

海外銅 相場 一段の上昇には材料不足

(二面より続く)

銅 建値 六四〇七三万円程度を予測



出典 日本電線工業会

【見通し】

前月から自動車関連以外がさらに悪化が進んだ月となった。

自動車生産は前年比一八・六%増の八三万七、一九七台と六カ月連続上昇。下振れ懸念もよそに堅調に推移。

また、国内自動車販売台数も三三万三、二一三台で前年比三一・九%増と急上昇。二、四月の自動車生産計画が八〇・九%増と自動車関連は絶好調。

自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比〇・七%減の六万〇、〇一〇tの昨年対比(九・五%減)。八カ月連続の前年割れ。

銅電線出荷量は、前月比一・一%減の五万六、〇〇〇t、昨年対比一・二%減と小幅悪化。自動車向けに助けられた形だがその他の悪化をカバーできず。

新設住宅着工数は季節調整前月比五%増の六万五、九八四戸。前年比は一・一%減とここ数カ月一進一退。急回復はなくこの調子が続きそうである。

輸出に関しては緊急輸入の電気銅の荷余り感が改善、電気銅輸出が前月比二二%減の二万八、〇六一tと三カ月連続減少。

輸入は電気銅は需給の調整が進んでいるも

の、スクラップは自動車の生産の回復から前月比二三%増の六、二八六t。

銅需給に関しては、自動車関連の本格的な需要が現実味を帯びてきており。販売面で自動車が前年比三二%増と大幅回復、また二、四月の三カ月間の生産計画は昨年対比八〇・八%増の二六九万六、五〇〇台。ただその他の関連の悪化は拡大しており、伸銅品生産に関しては三カ月連続悪化の九・五%減(前年比)、住宅需要の悪化から引き続き大幅調整がつづくであろう。緊急輸入がなされていた電気銅は五・五%増と昨年並であり、一旦調整が終了したと考えており、現在は需給は均衡。ただ新年度に向けて若干不足になるとの予測。

銅価格に関しては、ギリシャ救済に関して一旦目処がついたことに加え、米不動産、消費指標の好結果や中国の金融緩和期待から八、六〇〇ドルあたりまで買い進まれたものの、やはりそれ以上の上昇には米経済指標、中国の金融緩和、欧州対策のどれをとっても役不足感はいなめず、三月二十日にギリシャ国債の償還があることからやや下落を予測、LME価格で七、五〇〇〜八、五〇〇ドル。銅建値に関しては六四〇七三万円程度と予測している。

一部年金基金が参加拒否

背景に労組からの圧力がギリシャに

ギリシャの当局者によると、同国の年金基金は大半が債務交換への参加に同意しているものの、四基金は参加を拒んでいる。債務減免によって基金の存続に影響が及ぶことを懸念する労働組合からの圧力が強まっているためとみられる。

当局者によると、八、九の基金は既に債務交換への参加に同意しているが、ジャーナリスト、警官、自営業者およびホテル従業員の年金基金は参加に応じない姿勢を示している。これら四基金は合わせて二〇億ユーロのギリシャ国債を保有しているという。

◇KLT M ず相場

七日

二二・四〇〇

四三

米ドル
トン